



第5回 感覚・知覚心理シンポジウム 環境研究における「アプリ」活用の可能性

◆主旨

センシング技術や情報通信技術の進展によって環境測定機器の小型化と軽量化が進み、大量のデータを安価に即時に遠隔で収集することが可能となってきた。各種「アプリ」を搭載したスマートフォンも研究に使われ始め、試行錯誤を経て研究の新領域が形成されつつある。第一部では携帯式の小型機器によって温熱環境を記録した研究や、リモートによるにおい評価データの収集、研究レベルの測定器との精度の比較と活用可能性の検討、騒音測定アプリや、サウンドスケープの主観評価データを取得するアプリを独自に開発した例について紹介する。第二部の総合討論では第一部の講演内容にもとづいて議論をおこない、「アプリ」活用の可能性を探る。最新の研究動向に関心のある研究者をはじめ、初学者にも有益なシンポジウムになると期待できる。

◆プログラム

主旨説明	梅宮典子（大阪市立大学）	13:30-13:35
第一部		
小型センサとアプリを用いた環境把握が環境調整行動へ及ぼす影響	萬羽郁子(東京学芸大学)	13:35-14:05
リモートによるにおいの評価能力	光田恵（大同大学）	14:05-14:35
温熱環境分野における「アプリ」活用の実際	宮本征一（摂南大学）	14:35-15:05
スマートフォンによる騒音の簡易測定と評価への活用	秋田剛（東京電機大学）	15:05-15:35
第二部		
総合討論	司会：西名大作（広島大学）	15:45-17:00

主催— 日本建築学会 環境心理生理運営委員会 感覚・知覚心理小委員会

日時— 2021年2月27日（土） 13時30分～17時00分（オンライン Zoom 開催）

参加費— 日本建築学会会員 1,200円、会員外 1,500円、学生 1,000円（PDF版資料含む）

定員— 80名

申込方法— Web 申し込み <https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=637600> よりお申し込みください
※事前クレジット決済のみ（申込み締切2月24日（水））

領収書について— 領収書は申込み締切後に申し込み時にご指定の配送先に郵送いたします

問合せ— 日本建築学会事務局 事業グループ 伊佐野 TEL03-3456-2051 E-mail: isano@aij.or.jp

オンライン参加にあたっての注意事項

- ★会員の方はお申込み時にサインインしたメールアドレス宛に、それ以外の方はお申込み時に入力したメールアドレス宛に、開催数日前にZoomの参加用URLをお送りします
- ①視聴にはPCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。通信料は参加者のご負担となります。
- ②受信映像や講演資料の保存（画面キャプチャ、カメラ撮影等）、録音、再配布は禁止です。
- ③参加用URL等をシェアすることは固くお断りいたします。各人でお申し込みください。
- ④録画配信ではございませんので、開催後の視聴はできません。
- ⑤Zoomの使い方・動作環境についてのご質問にはお答えできません。Zoomのアプリケーションをご利用の場合は、最新版への更新をお願いします。Zoomヘルプセンター（<https://support.zoom.us/hc/ja>）をご参照ください。
- ⑥参加者の環境やそのときの回線状況により、やむを得ず中断される可能性があります。その場合は本会では責任を負いかねますので、あらかじめご理解のうえお申し込みください。